

社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
令和3年度第1回松戸市居場所づくり全体会議要旨

1 日 時 令和3年6月29日(火) 14時00分～15時50分

2 会 場 松戸市社会福祉協議会 第1・2ボランティア室

3 議 事

- (1) 委嘱状交付
- (2) 松戸市社会福祉協議会会長挨拶
- (3) 委員自己紹介
- (4) 議 題
 - ①松戸市居場所づくり全体会議設置要綱について
 - ②会長の選出及び副会長の指名について
 - ③多世代まるごとの居場所づくりについて
 - ④「まつどDEつながるステーション」活動助成金交付について
- (5) その他

4 出 席 者

(1) 出席委員(12名)

会長	文入 加代子	松戸市社会福祉協議会	会長
副会長	恩田 忠治	松戸市町会・自治会連合会	会長
委員	安蒜 正己	松戸市町会・自治会連合会	副会長
委員	平川 茂光	松戸市民生児童委員協議会	会長
委員	梶原 栄治	松戸市民生児童委員協議会	副会長
委員	小川 早苗	松戸市社会福祉協議会	副会長
委員	阿部 剛	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	理事
委員	松村 大地	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	理事
委員	伊東 朱美	松戸市総合政策部	部長
委員	上野 真一	松戸市市民部	部長
委員	笹川 昭弘	松戸市健康福祉部	部長
委員	渡部 優樹	松戸市生涯学習部	部長

(2) 出席機関(8名)

松戸市総合政策部地域共生課、特定非営利活動法人まつどNPO協議会

(3) 事務局(9名)

松戸市社会福祉協議会

5 議題内容

■松戸市居場所づくり全体会議設置要綱について

事務局より、要綱の制定について説明。要綱の内容について異議なしとして承認をいただく。

■会長の選出及び副会長の指名について

松戸市居場所づくり全体会議会長及び副会長について、松戸市居場所づくり全体会議設置要綱に基づき選出。会長は互選により文入委員が推薦され、異議なしとして承認をいただく。副会長は会長・文入委員の指名により恩田委員が推薦され、異議なしとして承認をいただく。

■多世代まるごとの居場所づくりについて

松戸市地域共生課より、多世代まるごと居場所づくり事業について説明。以下の質疑を経て、令和3年度の方針等(別添会議資料参照)について異議なしとして承認をいただく。

各委員よりいただいたご質問

- ・「まつどDEつながるステーション」について、固定した事務局は設けないという話だった。その都度場所を探して集まるのは現実的にあり得るか。
⇒【回答】地域の多様な主体の方に参画いただきながら、「まつどDEつながるステーション」創出に関わる会議体(実行委員会)の立ち上げに向けた会議を進めていく。その後実行委員会が立ち上がった際には、規約を作成し構成メンバーの名簿をつくっていただく。なお、「まつどDEつながるステーション」および実行委員会の運営・調整については、まつどNPO協議会にフォローしていただく予定。
- ・実行委員会の構成員は地区によって違うと理解して良いか。また、構成員の方に対して全体会議でみなさんのいろんな人の意見を聞いて、人選をするということか。
⇒【回答】各地区の実情に合わせて構成員は変わってくると認識している。また、実行委員会の方たちを人選するというわけではなく、多様な方が主体的に入ってもらうことを想定している。
- ・全体会議におけるまつどDEつながるステーションの承認・決定において、重層的支援体制整備事業における参加支援事業であるかどうかの判断は必要か。
⇒【回答】全体会議で重層的支援体制整備事業における参加支援事業の要素を盛り込んでいるかどうかまでは見ていただくことは想定していない。
- ・居場所の運営において専門性が問われるような案件については、地域の方がどこを担っていくのか、専門職も活用しながら連携した上で作っていくのか教えていただきたい。
⇒【回答】個別サービスが受けられないような案件、複合化・複雑化した課題については、一度持ち帰りどういった対応ができるのか、市の中でもまずはそういった方がいるということ情報を共有し、何ができるのか検討していきたい。
- ・年度年度で切り分けているように思うが、1年2年3年と続くような政策にしてもらいたい。
⇒【回答】今回は社会福祉協議会やNPOなど民間的な視点を入れて市と一緒にやっ

く事業であるため、状況に応じてフレキシブルな対応をしながら継続してやっていきたいと考えている。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

- ・15 地区がまつどDEつながるステーションを揃ってできる、とまではいなくても、ある程度できるような体制をお願いしたい。
- ・単発で終わりではなく、次年度や5年10年と先になった時にやはりこの場所があってよかったという居場所を作って行かなくてはいけないと思う。
- ・誰が担い手になるのか誰がどのような場にしていくか、思いを持っている人をどうやって手を引いていくのかが重要だと思う。
- ・既に活動している方々で進めていくというよりは、やはり新しい方々、地域の方々の掘り起こしが重要であると感じている。
- ・まずは事業を進めるための組織づくりについて、十分に検討していただきたい。
- ・本事業に関して、相当な分野にまたがっている内容であるため、全体会議に参加していない市役所の部署との連携や協力要請もお願いしたい。
- ・福祉の担い手や今後の福祉体制の整備をやっても良いのではないかなと思う。
- ・情報が止まってしまうよう、小さなことでも手と手がつながるところをもう一度今回のこの事業で作り直さなければいけないと思う。
- ・課題があるのであれば、早く察知してそういう意味でフレキシブルなものを持ち合わせていなければならない。
- ・各町会・自治会の様子を見ると、取り残されそうな方がいらっしゃることは、肌で感じているのではないかな。そういう方も含めてのステーションだということをやはり肝に銘じていかなければならないと思う。
- ・松戸市としては、おかげさまで若い世代の方も増えてきているため、松戸市の状況にあわせて、1人も取り残さないような地域共生社会の在り方を作り上げていきたいと思っている。

■「まつどDEつながるステーション」活動助成金交付について

事務局より、「まつどDEつながるステーション」活動助成金交付要綱について説明。
要綱の内容について、異議なしとして承認をいただく。

6 その他

- ・今後の予定…令和3年度第2回松戸市居場所づくり全体会議の開催
日時：令和3年11月12日(金)13時30分～15時00分